

## PHIJ ベーシックコースを終えて

医療法人わかみ歯科クリニック

歯科衛生士 鈴木真央

昨年の4月に参加させていただいたPHIJ設立10周年記念講演会の後、院長と2人で5月から福岡でのPHIJベーシックコースを受講いたしました。

私にとっては初めての九州で、初めての長期間のコース受講ということもあり不安でいっぱいでした。

第一回目はとても緊張していて講義の内容や実習についていけるか心配でしたが、MTMを実施しているOP診療所で勤務していく中で学んだことの復習や、今行っている自分たちの診療について見直す最良の機会となりました。

私がわかみ歯科で勤務して今年の4月で6年目を迎えますが、最初は流されるままになんとか行っていたMTM…。振り返って見ると、ダラダラやっていることがどんどん浮き彫りになってきました。実習でつきやま歯科の歯科衛生士さんとドクターのみなさんの様子を見て、「今の私じゃダメだ！今のわかみ歯科をもっと良く変えられるような歯科衛生士になろう！この刺激をこのまま持って帰って、フィードバックしたい！」と強く思ったのです。また、それはコースを終えた今も同じ気持ちです。

たくさんのお話を学ばせていただきましたが、歯周病の病因論についての築山先生の講義はとてもわかりやすく、本当に勉強になりました。「歯周病と全身疾患 最新エビデンスに基づくコンセンサス」を読んで予習していましたが、実際に講義を聞いてからはイメージがついてとてもわかりやすく感じました。この本をさらに読み込んで、今年は歯周病と全身疾患についてさらに理解を深める1年としたいです。

歯周外科の知識も深まりました。普段よく目にしたり、携わったりする歯周外科というと、ほとんどがFOPでした。勉強してみると、いつも院長が行っているFOPの正式な名称すらわからないことに気づきました。一概にFOPと言っても種類があり、切開の仕方から縫合まで様々な術式があることを知りました。知識がついて良かったと思います。組織再生療法とインプラントの講義と自習も普段あまり見る機会がないものや使うことのない器具、機材に触れられて勉強になりました。インプラントの上部構造の印象採得も経験できたのは嬉しか

ったです。ありがとうございました。

築山先生とスタッフの皆さん、他の参加医院の先生や衛生士さんとの交流も毎回の楽しみになっていました。衛生士同士で、メンテナンスの方法や患者さんに進める清掃器具について等、疑問に思ったことや意見をいただきたいことを話し合えるのは大きな利益でした。今まで使わなかったメーカーの歯ブラシや歯間ブラシを使ってみようと考えています。

今回の研修コースで、自分の狭かった世界が広がりました。色々な講義を聞いて、色々な症例を見て検討して考えて、そうしているうちに視野が広がり、学んだ多くのことを実践してみたいと、どんどん思うようになりました。

歯科衛生士として初めて全力で挑んだ症例作成も、資料の規格性はもちろんのこと自分がその患者さんに対して行ってきた診療が適切だったのか、もっとやれることはあったのではないかと、これからどんな風にしていけばいいのか、たくさん考えられる時間になって良かったと思います。

これからは、目に見える結果だけではなく目に見えない部分に意識を向けて、個々のリスクを知り、患者さんに伝え、お口だけでなく全身の健康を守っていただけるような歯科衛生士になります。

医院の中ではこれからも院長と同じ気持ちで、全スタッフを引っばっていただけるような存在になることが目標です。

最後になりますが、築山先生を始めとした講義でお話くださった先生方、つきやま歯科のスタッフの方々、一緒に受講した PHIJ4 期の全医院の先生、衛生士さん方と、ランチョンセミナーの開催等してくださったメーカーの皆さんに感謝いたします。

9ヶ月間、本当に素晴らしい経験ができました！これからも頑張ります。

ありがとうございました。